

No. 1 3 候補問題の操作手順と時間想定			
	想定時間合計	25分	
試験前の操作	1 0 分	支給材料の確認	
		器具の配置	
試験時間	4 0 分	操作手順	操作想定時間(分)
電源ケーブル		VVF 2.0-2C(250mm)の片方を折り曲げ、反対側の外装を100mm、被覆を20mmストリップする	1
		折り曲げた部分を真っ直ぐにし、ストリップした方の被覆を外装の端で180度折り曲げる	
部品とケーブルの取付け	連用枠取付け	連用取付枠に接地極付きコンセント1個を取付ける	1
	コンセント	VVF1.6- 2 C (1400mm) の外装を100mm、被覆を約10mmストリップする	2
		黒線をコンセントの左側、白線を右側(W側)に差し込む	
		連用枠の中央から250mmで切断する	
		アース線 (150mm) の被覆を約10mmストリップする	
		コンセントの下側のアース極の穴に差し込み、下に曲げる	
	スイッチ(イ)	残りの1.6VVFケーブル(1050mm) の外装を100mm、被覆を約10mmストリップする	2
		黒線をスイッチ(イ)の左側、白線を右側にそれぞれ差し込む	
		連用枠のケーブルの長さ(250mm)に合わせて切断する	
	端子台(3個口)	残りの1.6VVFケーブル(700mm) の外装を50mm、被覆を約10mmストリップする	2
		黒線を1に、白線を2に差し込み、 1 のネジを締める	
		端子台の中央から300mmで切断する	
		VVR 1.6-2Cケーブル(250mm) の外装を50mm、被覆を約10mmストリップする	
		白線を 2 に、黒線を3に差し込み、両方のネジを締める	
	ランプレ	残ったVVF 1.6ケーブル(400mm)の外装を45mm、被覆を20mmストリップする	5
		被覆の端から2-3mmの心線をストリッパーの先端で挟み下向きに直角に曲げる	
		工具を裏返し、片方の心線の端をつまんで手前に曲げ、の字をつくる	
		同様に、もう1本の方ものの字にする	
		白線がW側(ソケット側)にくるようにして、の字の部分がランプレセプタクルのネジに重なるように調整する	
		ドライバーでランプレセプタクルのねじをはずす	
		ケーブルをランプレセプタクルの穴から下へ通す	
		外したネジをの字にはめて、指で押さえながらドライバーで押さえつつ回してネジを半分程度締める	
		反対側についても同じようにしてネジを締める	
		ネジが被覆を噛み込んでいないことを確認してネジをしめる	
		ランプレセプタクルの中心からスイッチ(イ)のケーブルと同じ長さ(250mm)に切断する	
接合部分のケーブルの処理	ジョイント間の配線	VVF 1.6-3C(350mm)の両端をそれぞれ外装100mm、被覆20mmストリップする	1
		ストリップした電線をそれぞれ外装の端で180度折り曲げる	
	器具配線	スイッチ(イ)を取り付けたケーブルの外装100mm、被覆20mmをストリップし、外装の端で180度折り曲げる	1
		連用枠を取り付けたケーブルの外装100mm、被覆20mmをストリップし、外装の端で180度折り曲げる	1
		ランプレセプタクルを取り付けたケーブルの外装100mm、被覆20mmをストリップし、外装の端で180度折り曲げる	1
		端子台を取り付けたケーブルの外装100mm、被覆20mmをストリップし、外装の端で180度折り曲げる	1
ケーブルの結線	A部分	電源側の白線と3心線の白線をそれぞれ立ち上げ、リングスリーブ小にはめる	4
	リングスリーブ	圧着工具の小の位置を確認し、スリーブを圧着後、小マークを確認する	
		黒線3本(電源側の黒線とスイッチ(イ)からの黒線および3心線の黒線)をそれぞれ立ち上げ、リングスリーブ小にはめる	
		圧着工具の小の位置を確認し、スリーブを圧着し、小マークを確認する	
		残った2本 (スイッチ(イ)の白線と3心線の赤線) をそれぞれ立ち上げる	
		圧着工具の○の位置にリングスリーブ小を挟み、1.6mmの電線2本をスリーブにはめる	
		スリーブを圧着後、○マークを確認する	
		スリーブ(合計 3 個)の上端からはみ出ている心線をペンチで切断する	
	B部分	それぞれのケーブルの心線をペンチ幅(1 2 mm)で切断する	3
	差込コネクタ	白線4本(3心線、連用枠、端子台およびランプレセプタクルからの白線)をそれぞれ立ち上げ、4 本用の差込コネクタに挿入する	
		3心線の黒線と端子台および連用枠からの黒線をそれぞれ立ち上げ、3 本用の差込コネクタに挿入する	
		残った電線(3心線の赤線とランプレセプタクルの黒線)をそれぞれ立ち上げ、2 本用の差込コネクタに挿入する	